

令和4年度健康づくり指導者セミナー（行政コース）研修実施報告書

1. 研修概要

【目的】 地域における健康づくりの知識と技術を身につけた指導者を養成し、健康づくり事業がより円滑に、また効果的に推進されることを目的とする。

【方法】 ライブ配信型研修及び、通信型研修（動画視聴）による複合型研修として開催した。

通信型研修はインターネット動画配信サイト（YouTube）に研修動画を掲載した。

【期間】 ライブ配信型 令和4年10月7日（金）午後1時30分から午後4時15分まで

通信型 令和4年10月28日（金）午前10時から11月25日（金）午後5時まで

【対象者】

- （1）愛知県内の市町村で保健衛生、高齢福祉、保険医療部門等の業務に携わる担当者とその管理職
- （2）愛知県内の保健所で市町村支援業務に携わる職員
- （3）愛知県後期高齢者医療広域連合、愛知県国民健康保険団体連合会の職員

【カリキュラムテーマ】

「高齢者の健康づくり！地域の健康課題を把握し、適切な事業を実施しよう」

時間	内容
13:00分	受付
13:30分	オリエンテーション
13:40分 (20分)	【講義】 「愛知県における高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について（総論）」 愛知県後期高齢者医療広域連合 給付課 保健事業グループ グループリーダー 唐川 祐一 氏
14:00分 (20分)	【講義】 「KDB システムにおける高齢者の健康課題抽出について」 愛知県国民健康保険団体連合会 総務部 保健事業課 課長補佐 柴田 和幸 氏
14:20分	休憩
14:30分 (20分)	【情報提供】 「愛知県委託事業 市町村健康づくり技術支援事業報告」 あいち健康の森健康科学総合センター 指導者養成課
14:50分 (10分)	【情報提供】 「あいち健康プラザが養成しているボランティアについて」 あいち健康の森健康科学総合センター 指導者養成課
15:00分 (20分)	【事例紹介】 「愛知県健康づくりリーダー活動紹介～行政機関とのつながり～」 愛知県健康づくりアドバンスリーダー 加藤 宣子 氏
15:20分	休憩
15:30分 (40分)	【グループワーク・意見交換】 ～高齢者の健康課題と今後の事業展開～
16:10分 (5分)	【連絡事項】 愛知県保健医療局健康医務部健康対策課からのお知らせ

本年度は「高齢者の健康づくり！地域の健康課題を把握し、適切な事業を実施しよう」をテーマに5人の講師に講義や情報提供、事例紹介をしていただき、その後グループワークと意見交換を行いました。

●「愛知県における高齢者の保健事業と介護予防の

一体的な実施について（総論）」

愛知県後期高齢者医療広域連合の唐川様より、愛知県における後期高齢者の健康課題と一体的実施の取り組み状況についてお話しいただきました。一体的実施はすでに98%の市町村で実施（予定含む）となっていました。

また、今後は成果（アウトカム）が求められていくことが確実であるため、質の向上が必要だと認識することができました。



●「KDB システムにおける高齢者の健康課題抽出について」

愛知県国民健康保険団体連合会の柴田様より、KDB システムの活用についてお話しいただきました。各市町村のシステム活用のための課題解決のため、厚生労働省と国保中央会が連携してシステムの二次加工ツールを開発し、業務の簡素化や標準化を図っており、一体的実施推進のためシステム面からの支援も行われていることを再認識できました。



●「愛知県委託事業（市町村健康づくり技術支援事業報告）」

あいち健康プラザの井村より、市町村健康づくり技術支援事業の報告を行いました。事業概要と令和3年度の実施報告として小牧市に行った支援の内容をお伝えしました。様々なテーマに対し支援を行っている事業になるので、支援を希望する場合は活用を検討していただくよう伝えました。



●「あいち健康プラザが養成しているボランティアについて」

あいち健康プラザの深澤より、養成しているボランティア、愛知県健康づくりリーダーについて、養成状況や活動の場面などをお話ししました。愛知県内全54市町村に対し1名以上の登録があるため、それぞれの市町村において健康づくり事業等のお手伝いとしてご活用いただけるよう伝えました。



●「愛知県健康づくりリーダー活動紹介

～行政機関とのつながり～

愛知県健康づくりアドバンスリーダーの加藤様より、愛知県健康づくりリーダー連絡協議会のご紹介と、行政機関とのつながりについて自身の経験を基にお話しいただきました。主に活動拠点の安城市とのつながりについてお話しいただきました。それぞれの市町村において、健康づくりリーダーとの連携に参考となる内容でした。



● 「グループワーク・意見交換

～高齢者の健康課題と今後の事業展開～

来場型研修ではグループワークを行いました。一体的実施を展開するにあたり、ハイリスクアプローチを行う際の専門職が不足しているなどの課題が共通でありました。ボランティアについては市独自のボランティアを活用されているところも多く、健康づくりリーダーとの住み分けについて今後考えていく必要を感じました。



2. 申込状況・視聴回数について

【申込者数】 ライブ配信型 5人 通信型 74人

【所属別 申込者数】

	保健所	市町村	その他（国保連・広域連合など）
ライブ配信型	0人	5人	0人
通信型	4人	63人	7人

【職種別 申込者数と割合】

	保健師	管理栄養士	事務職	歯科衛生士	その他（未記入含む）
ライブ配信型	5人 (100%)	0人	0人	0人	0人
通信型	62人 (83.8%)	5人 (6.8%)	7人 (9.5%)	0人	0人

【通信型動画視聴回数】 75回

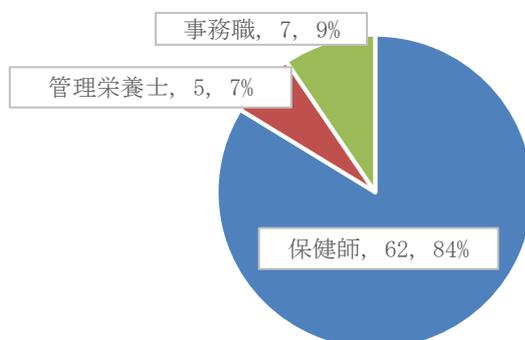
3. アンケート結果について

【回収状況】 ライブ配信型 5名から回収（回収率 100%） 通信型 44名から回収（回収率 59.5%）

1 回答者の職種 ライブ配信型

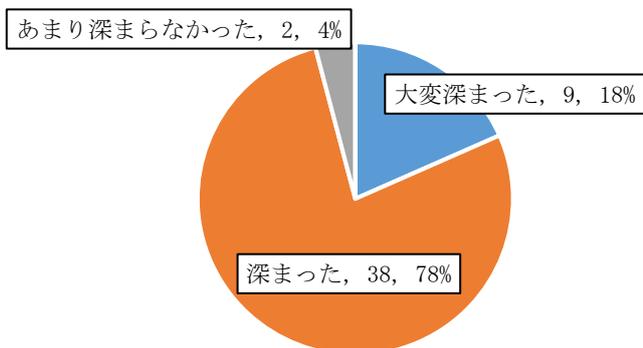


通信型

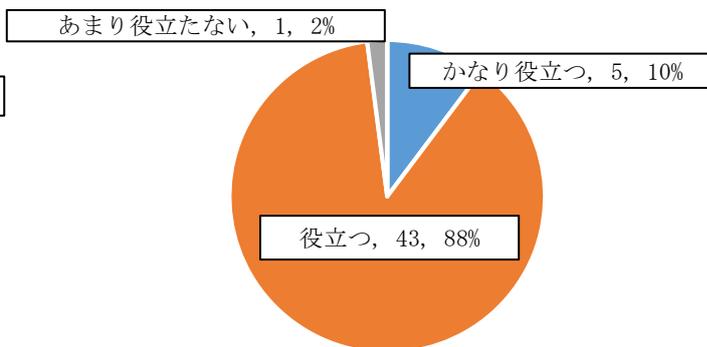


2 セミナー全体を通して

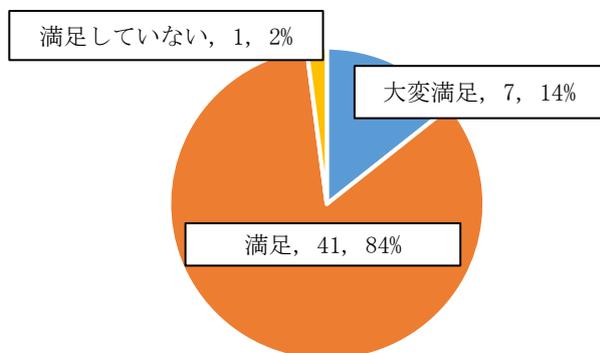
(1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施についての知識が深まりましたか？



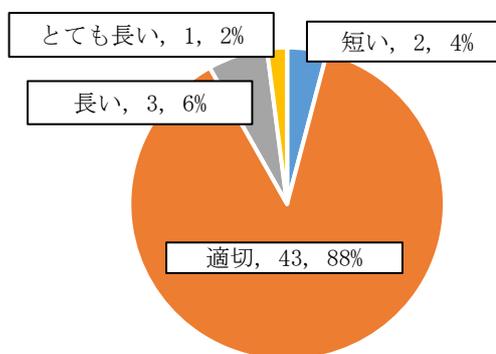
(2) 今後の業務に役立ちますか？



(3) 満足度はいかがですか？



(4) 講義の時間はいかがでしたか？



3 今後の事業への活用について

今回のセミナーを受講して、貴組織としてどんなことから始めてみようと思いますか？（自由記載）

< 庁内連携等に関すること >

- ・管内市町の一体的実施に向けた体制整備や KDB システムの利活用に関する状況把握。
- ・一体的実施の取組を来年度から開始する予定なので、PDCA サイクルを上手く回しながら、他課や他機関との連携を取って行っていきたい。
- ・データを基にした健康課題の明確化が不十分などところがあるので、データ分析を行い、管内市で意見交換会、翌年度の事業の取組予定等を確認できる場を設けたい。
- ・一体的実施を進めていく上で、PDCA を意識して事業の構成を考えていこうと思った。

< KDB システム等に関すること >

- ・KDB への理解を深め、データヘルス、一体的実施にも役立てたいです。
- ・KDB というツールを最大限活用し、成果を出すために KDB の機能の理解を深めることが必要。
- ・KDB システムを活用しながら、事業評価や課題を再確認し、次年度につなげていきたい。
- ・KDB データの活用支援ツールを使いたいです。

<事業や取り組みに関すること>

- ・各種データをまず目を通し課題を確認することから始めたい。
- ・ガイドラインや、取り組みの事例やポイントを読みたい。
- ・健康づくりリーダーが意欲的に活動をしている現状を知り、ぜひ今後の事業でも協力してもらいたいと思った。
- ・一体的の事業を進める時に今回の研修を参考に、現状を整理したて行きたいと思う。
- ・評価が行えるように評価指標の設定をし、次年度にフードバックしていけるようにしたいです。
- ・健康づくりリーダーの活用について検討したい。
- ・今ある社会資源や人材を活かして、切れ目のない事業につなげていきたいと思います。
- ・横断的な取り組みができると良い。既存の事業においてもデータを活用し、アウトカムの得られる事業としていきたい。
- ・今後事業評価において成果を示すことが求められているので評価指標に合わせたデータの活用について示していけるとよいのではないかと考えた。
- ・広域連合講義の「取組みやすい事業から開始し、優先課題に向けた事業へとシフトチェンジする」の指摘通り、柔軟な姿勢で、支援評価委員会事務局として支援に関わっていきたい。
- ・一体的実施については、R6 年度から開始していく予定である。現在、市のデータを読んで健康課題の抽出と、事業の計画を行っている最中であるため、健康課題とずれのない事業になっているか確認しながら計画を進めることを始めたいと思う。
- ・今までは健康づくりリーダーについては協力をお願いすることに少しハードルの高さを感じていたが、活動場所、活動内容、対象年齢など幅広くあることが分かった。そのため、もっと市の事業（健康教育など）で協力をお願いできないか、普段の事業の中で意識して探すことから始めたいと思った。
- ・健康づくりリーダーの制度について分かった。リーダーさんと協力を深めるところからはじめていきたい。
- ・一体的実施、ポピュレーションアプローチで関わるサロンについて、その後のサロンへの継続支援を検討中。サロン介入中の協力員への指導もあるが、加えてボランティアの活用も検討していきたい。
- ・目先で実施している現場事業のあり方、やり方のバージョンアップの為に、地域の高齢者の健康データの見直しと課題確認、及び教室活用についても考え直したいと思います。

4 今回のセミナー全体に対して、ご感想やご意見がありましたら、ご記入ください。（自由記載）

<カリキュラムに関すること>

- ・健康課題への取り組みや、データの活用方法、事例などもあり、わかりやすかったです。
- ・KDB システムでの健康課題抽出方法の資料を使って、実際に抽出をやってみようと思いました。
- ・取りこぼしていた重要な情報もあったので、情報提供していただいて大変助かりました。今後の業務の参考にしていきたいと思います。
- ・高齢者への保健事業および介護予防に関する、愛知県下での行政の動きやデータを活用した事業のあり方を確認することができました。

<研修方法に関すること>

- ・ひとつの講義時間がもう少し長く、内容を充実させるとよいと思った。

<健康づくりリーダーに関すること>

- ・健康づくりリーダーを「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の中でどのように活用できるのか、補助金の対象となるのか等についてももう少し具体的に知りたかったです。
- ・健康づくりリーダーが通いの場等でしっかり活動している様子が改めてよく分かった。
- ・健康づくりリーダーなど、名前は知っているけど具体的な活動内容について知識がないことについて詳しく説明いただけたり、現在不安に感じていた一体的実施についてなど、今欲しい情報をいただけてとてもありがたかったです。
- ・成人事業で健康づくりリーダーに依頼し教室を実施しているが、健康づくりリーダーの役割について再認識できた。

<その他>

- ・保健所は、管内市町の健康づくり等の後方支援役割があるが、一体的実施やKDBシステムなどに関しての助言できるような知識が浅く、十分な支援ができていない。
- ・今回のような研修は、市町の抱える課題への支援のヒントとなるため、ありがたい。
- ・今年度、初めて担当する事業に関する内容であったため、とても勉強になりました。今後の事業展開に活かしたいと思います。
- ・保健事業と介護予防の一体的な実施では、評価指標としてアウトカムの評価も需要であることを学んだ。

5 次回のセミナーについて、テーマにしたい、深めたい内容等ご記入ください。(自由記載)

- ・今回のようなテーマで引き続きお願いしたい。
- ・あいち健康プラザの取り組み、市町村とのコラボの内容などを聞きたい。
- ・自分でアセスメントしたことが正しいのか不安なので、データからみたアセスメントのポイントなど知りたいです。また、動画では難しいかと思いますが、実際に講師と一緒にデータを検索してみたり実施して、使い方をマスターしたいです。
- ・KDBシステムを使った健康課題抽出方法やデータの読み取る力を深めたいと思いました。
- ・KDBを用いて介護保険情報と健康情報を組み合わせて介護予防の取り組みを評価したい。
- ・他の自治体の取り組み例なども知りたい。
- ・高齢者の健康づくり（一体的実施等）において、通いの場等へのポピュレーションアプローチの効果的な支援について知りたい。